

教職課程実地視察教員養成機関に対する講評

実地視察日：令和5年12月7日（木）実地

実地視察大学：大阪教育福祉専門学校

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

2. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○貴校としての教員養成に対する理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○3つのポリシーについて非常に練られている点が確認できた。また、これらを踏まえたカリキュラムマップが作成されており、教職課程を担当する教員がどのように生徒を養成するべきか、十分理解した上で授業等を行っていることが確認できた。

3. 教育実習の取組状況

○一年生前期から「インターンシップ」等の授業を通して現場経験をさせて、早期から生徒に将来について考えさせる機会を設けていることが確認できた。
○「インターンシップ」の開講に向けて、生徒一人一人の実態把握や、実習園との綿密な調整が行われていることが確認できた。
○生徒の実践知は現在の履修指導等で十分に培われているので、理論知が更に深まるよう、例えば指導大学である大阪教育大学と連携をするなどして、理論と実践の往還の実現に向けた検討をしていただきたい。

4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

○貴校で生徒一人一人の様子を把握できており、生徒の目線に立った教職指導をしている様子が確認できた。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 指導大学である大阪教育大学と必要に応じて連携が取られていることが確認できた。
- FD・SD研修会等を行うことで、大阪教育大学が有するリソースを貴校の教職課程に活かす更なる連携の在り方について検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備の状況については全般的に良好であることが確認できた。
- 図書館については、蔵書が充分にあるにもかかわらず、生徒の利活用が芳しくない
ので、授業内で蔵書の紹介をするなど、生徒の利活用推進の在り方について検討
いただきたい。

7. その他特記事項

- 今後も、指導大学である大阪教育大学と緊密に連携しながら、教育課程、教員組織、
施設・設備等のあり方について検討し、引き続き充実した教員養成を行っていただ
きたい。